



### 3歳Eちゃんのパパとママ

首のすわりがゆっくりで、その頃から大学病院小児科、発達専門医を受診していました。寝返り、お座り、つかまり立ち・・・全てが人よりゆっくりだったため、1歳頃に区のセンターを紹介していただき、月に2回のPTを受けていました。1歳半頃、引越しのために退園となり、引越し先の区では民間の事業所で個別を2回/月、集団を4回/月、さらに別のセンターでは個別を2回/月、集団を4回/月受けていました。その頃の娘は、つかまり立ちができるようになっていました。これだけ専門のサービスを受けているんだから、娘には良い刺激になっているはず、なっていてほしい、と願うような気持ちでした。しかし、どんどん過ぎていく毎日に娘の育ちが追いつかず不安は募っていくばかりでした。

ようやくひとり歩きができるようになったのは、第二子出産のため里帰りしていた2歳5か月頃でした。出産後も生後間もない妹を抱え、民間の事業所や区のセンターへ足を延ばす日々。音楽が好きだからと始めたリトミックも意外と楽しんでくれず、どうしたらいいんだろう、何をやったらいいんだろうと途方に暮れていました。そんな毎日が続いたある日の帰り道に、ふと気づいた”もうひとつのおうち”の表札。まさに青天の霹靂!近くにこんな魅力的な”おうち”があったなんて!!すぐに問い合わせで見学させていただき、夫にメールしました。「今通っている事業所も区のセンターもやめます!」。

りさせんせいと初めて会った時、その印象にドキッとしたことを覚えています。「せんせいが明るい!笑顔が素敵!それからお部屋が開放的!なんだここは!」という感じで・・・ただただ圧倒され、うまく娘の状態を伝えることができなかつたように思います。もうひとつのおうちについて、お話と動画で説明してくださりましたが、今の娘にみんなと同じように自立性の高い活動ができるとは思えず、「不安です」と口にしていました。ですが、りさせんせいは優しく受けとめてくださり、「何度も繰り返していくうちにできるようになるんです。着替えもトイレも、ルールのある遊びもできるようになります。」と話してくれました。もしかすると、私はどこかで自分の不安を優先して考えていたのかもしれませんが、でも、折角出会えたのだから、ここはせんせい達にお願いしてみよう、勇気を出して”社会”に出してみよう、りさ先生の言葉を聞いて、娘の可能性を信じてみることにしました。

レッスン内容は他のママ・パパが書いているようにまるで幼稚園のような内容。4月は入園式から始まり、親らしいことができる行事に胸が高鳴りました。母子分離の課題を1ヶ月かけて克服し、ひとりでご飯を食べる、トイトレ、歩く距離を伸ばし歩行を安定させる、コミュニケーションツールを使う、ズボンの着脱の自立、これらの目標を同時進行で積み重ねていきました。通い始めて半年、トイトレはほぼ完了、歩行も安定し、食事や衣服着脱の自立度も上がってきています。言葉は「ママ」など数





はまだ少ないですが、理解は目まぐるしく向上し、指差しやサインなどでコミュニケーションが取れるようになりました。

もともとおともだちは大好きでしたが、もうひとつのおうちではさらに社会的になり、自分から追いかけて楽しそうに過ごす姿に感動しています。おともだちと手をつないで歩きたい、おともだちと一緒にのこをしたい、おともだちに好きの気持ちを伝えたい、など、おともだちがいたからこそまでこれた、といっても過言ではありません。自分は おともだちのようにできないことがあると認識しながらも、負けじとおともだちを追いかけて成長する娘の姿は、頼もしさを感じ、「せんせいに迷惑を掛けてしまうかも」と不安だった私を、母親として強くさせてくれたように思います。もっと娘を信じて、娘の成長の手助けになるように、母親としても変わっていく必要があるんだなと思わせてくれました。

また、娘の成長はせんせい方のおかげでもあります。娘への接し方、自立の促し方など具体的ですぐに実践できるアドバイスをレッスン毎にくださいます。それがとても温かくて、夫婦で悩んで育児していた頃が嘘のように、私たち二人だけで娘を育てているのではないのだと勇気と安心を与えてくれます。まさに”もうひとつのおうち”なんです。宿題として出されている1週間に1度せんせい方宛にメールする成長日記も、娘との関わりの振り返りになり、家での娘の様子をせんせいに把握してもらえる大事なツールです。

娘を出産してあっという間に3年が過ぎました。こんなに密に娘のことを考えて過ごすことは、幼少期ならではなのではないかと思います。できることはやってきたつもりですが、それでも課題は残っています。こどもにとって本当にいいものかどうかを見極めることは大変難しいですが、専門のせんせいがいて、おともだちと一緒に楽しく過ごしながらレッスンができる場所は”ここ”だけだ と思います。ぜひ1日でも早く、お子さんの可能性を信じて”もうひとつのおうち”に通わせてあげてみてください。そこにはあなたのお子さんと、あなた自身を優しく受け入れてくれる”おうち”があります。

『当たり前でできること』は、私たちにとって実は当たり前ではないけれど、それも悪いことばかりではないかもしれない。娘の日々の成長に気づき、これほど感動することができるのだから。大切なことに気づけたきっかけを”もうひとつのおうち”が与えてくれたことに、本当に感謝しています。

